

# 国語の学習方法

## 1. 言葉に対して意識を向ける 日常生活の中での態度と習慣

- (1) 読書の習慣の大切さ  
本に親しむ態度と習慣は、その人の一生の宝物です。中学・高校時代には、自分が影響を受けた人や物との出会いも多くありますが、本との出会いもまた重要です。一冊の本を読むことで、今まで知らなかった世界への扉が開かれます。
- (2) 新聞を読むこと  
毎日発行されている新聞には、一日分で、文庫本二冊分もの情報が詰まっているとされます。新聞の記事を読みこなすことが、中学3年終了時点での国語の学力の目標になっています。まずは、身近にある新聞を手にとって、自分の興味のある記事を拾い読みしてみましょう。
- (3) 日常生活の普段の会話を見直す  
話し言葉（音声言語）に、どれだけ自分が注意をはらっているかということは、大切です。普段、何気なくかわしている私たちの会話は、その場で消えていくものだけでも、相手の記憶や気持ちの中に残ります。言葉によるコミュニケーションを円滑に行うために、相手や状況に応じた言葉遣いができているかどうか、意識して話すように心がけましょう。

## 2. 国語の学習のポイント

- (1) 読解力はすべての教科の基本！  
国語は5教科の中でもっとも成果の出にくい教科といわれますが、成果が出にくいのではなく、成果が出るまでに時間がかかるだけです。成果が出るまでに3ヶ月から半年以上かかる場合もあります。ただし、皆さんは小学校に入る前から毎日日本語を使っています。読書の好きな人は小さいころから色々な本を読んで読解力を養っています。いずみの日記を毎日しっかりと書いている人は、毎日作文の練習をしているのと同じです。つまり、国語の成績は基本の読み書きができるようになってから、今までの積み重ねが結果となっているのです。文章を読む力（読解力）がつけば、国語だけでなく他の教科の理解力も高まります。
- (2) 国語の分野別の勉強方法
  - ①漢字  
漢字は書いて覚えましょう。「らくらく漢字ノート」の読み書きの問題を、完全に読み書きできるようにしましょう。何回も書くことも大切ですが、漢字の成り立ちや意味を理解すると覚えやすくなります。また、漢字テストで100点を目指すとか、漢字検定の級の取得に挑戦するなど、自分で目標を作ると覚えることが楽しくなります。
  - ②文法  
多くの人が苦手意識を持っている文法は、基本から体系的に勉強するのが一番理解しやすい方法です。参考書などを見て、要点を自分なりにノートに整理するのが良いでしょう。また文法では、つまずきやすい箇所がある程度決まっています。勉強する内容は限られているので、できるだけたくさんの練習問題をこなしましょう。
  - ③古典  
古典をわかるためには「読みまくる」ことが重要です。同じ文章を何度も何度も音読しましょう。古典とはいっても同じ日本語ですから、現代文の読解力がついていれば古典の文章を音読することで、初めて読む古文でも、なんとなく意味がわかってきます。もちろん古文特有の言葉や表現、現代語と異なる意味の言葉などを覚えることも重要ですが、音読で古文のリズムに慣れることが大切な第一歩です。
  - ④長文読解（文学的文章・説明的文章）  
長文の読解力をつけるためにはとにかく繰り返し文章を読むことです。3年生であれば、過去の高校入試問題の問題文を読むのが一番良い方法です。同じ文章を5回～10回読んでください。特に説明文、論説文などでは、文章を10回読んだ後で、本文を見ずに内容をノートに要約すると良いでしょう。内容が頭に入っているかどうかを要約することで確かめられます。